



しかはま自然観察会

のらえもん

2021年度

No. 5

2021. 7. 22~24

『 人も 自然も みんな友だち 』

第5回活動 夏休みキャンプ体験 12回目
メインテーマ「家族でキャンプを楽しもう！」

たくさんの新しい発見がありました！

○ バームクーヘン作り ○ゼリー作り ○花火など、
参加者の自主的な活動が、たくさんありました。

1, 日 時：2021年7月22日（木）～24日（土）

2, 場 所：キャンプインドロボックル

料金の変更あり : 入場料 毎日1人 300円 ←1回 200円
: テント 1泊 3300円 ←1泊 2000円
: ケビン 1泊 12560円 ←1泊12000円

3, 天 気：晴れ

気 温：23日午前 6時 16℃ (テント内18℃)

8時 22, 4℃

12時 25, 9℃

午後 3時 28, 7℃

22時 19, 6℃

水道の水 17, 5℃

川の水 13, 8℃

池の水 14, 0℃

4, 集 合：現地

5, 参加者：総数18名 6家族 内訳 大人 8
小学生 7
スタッフ 3

6, 活動内容：

今回のキャンプは、コロナ感染を最大限に予防することに重点を置きました。

その方法として、のらえもんの企画は少なくし、家族の自主的な活動を見守ることにしました。

その結果、今までにない新しい発見がたくさんありました。

A) 自主的な活動の様子

①トンボ採り・川遊びなど子ども中心で、のびのび・ゆったりした時間のなかでキ

キャンプ活動を味わいました。

②子どもたちの自然発生的な遊びが生まれました。

女子会では、男の子におやつをもって来させて仲間に入れていました。また、子どもたちによるルールのバレーボールでは、笑いが絶えず、失敗のようなことも笑って飲み込んでいました。

③ゼリー作りやバウムクーヘン作りでは、企画者は1ヶ月前から材料や道具選びをして準備してくれました。特に、バウムクーヘン作りでは、他の人も集まってきて、あの縞模様をつくるために、熱い炭火に耐えながら何度も回転させてくれました。試食の時には、「おいしい！」と喚声があがりました。

④各自が好きな花火をたくさん持ってきて、思いっきり楽しみました。線香花火をごっそり持って来た人、初めて見るヘビ花火など、都会では制約が多くてストレスを感じることも、ここでは存分に好きなだけ花火を上げることができました。終わった後、保護者たちが完璧に花火をかたづけていました。

⑤食品のロスが少なかったようです。また、ゴミは、それぞれ持ち帰りました。

B) のらえもん活動

①ゲンジボタル観察会

満月に近く、そのためか数匹のホタルに遭遇しただけでした。でも、行き帰りの暗い道を、「怖い！」「暗い！」「何か出そう？」と、新鮮な体験ができたのも事実でした。

夕食後の出発でしたので、「飲んだら、車、運転できないよ！」「歩いて、行こうよ！」と言ってくれたのは新鮮でした。

②里山散策と釣り堀

里山散策では、ワラビを採りながら野花を観察しました。赤ムラサキのアザミ、ピンクのナデシコ、ムラサキのウツボカズラ、白いトラノオやショウマ、うすいピンクのヒメジオン、などです。

途中、突然鹿が跳び越え、その時男の子は頭に鹿蹴りをくらいました。たんこぶが出来、お母さんに抱きかかえられながら泣きました。その様子を見た友だちの男の子は、「いい感想文、書ける、ね」とつぶやきました。この一言で、全体の雰囲気をも明るく前向きにしてくれました。

釣り堀では、1時間糸を垂れましたが、誰一人魚信はありません。が、集中して釣り糸に期待したことや、簡単に釣れないという現実に向き合いました。

C) みんなで、集まりたい！

就寝前には、何となく集まり、歓談しました。この交流は、情報を交換しあいお互いを親密にできるチャンスでした。そして、のらえもんの絆を強くし、次の活動への推進力を生み出してくれています。

みんな集まって、ワイワイ・ガヤガヤしたいのですね！

E) 次年度にむけて

次年度の大きな目標は決まりました。バウムクーヘンをより完璧に仕上げる。魚つかみをして、自分で内蔵を取り出し、炭火で焼いて食べる。草木染めで、ハンカチとトートバックを染め上げる。夜の集まりを、持つ。

7, ふりかえりの感想

○ホテルを見に行くのが、くらくてこわかった。

トンボがいっぱいいて、楽しかったです。

川の水がつめたかった。

はなびはね へびのはなびもあるんだよ

北区王子第五小 4年

○3年ぶりに、家族で参加させて頂き、子どもたちと自然の中で、楽しく遊ぶことができて、とてもうれしかったです。

自然の中で食べるご飯は、とてもおいしかったです！

また、参加させて頂きたいです。ありがとうございました。

川の中 はれた手足を 冷やす母

○トンボがいっぱいいて、最初はビックリした。

ホテルを見に行く時、こわかった。

すみれちゃんがゾンビのまねをしておもしろかった。

川、つめたかった。

かえるの子 つめたい川で およいでる

北区王子小4年

○ホテルはね おばけがでそうなところだよ

さかなつり つれなかったよ かなしいな

はなびがね いっぱいあって たのしいな

舎人第一小3年

○今回は、息子要望のゼリー作りやバウムクーヘン作りを達成できて良かったです。

時間と人と環境の整った時しかできない貴重な体験となりました。

ありがとうございました。

夏がきた とんぼつかまえ たのしいな

年輪を 重ねる度に 笑みが出る (バウムクーヘン作りで)

高野小3年

母

○なんとか説得してつれてきましたが、来たら来たで、たのしそうにすごしてくれたので、良かったです。

あっという間の、2泊3日でした。

トイレくさ 早く帰って ゲームやろう

茅ボッチ ワラビと鹿と 出会いかな

里山で 鹿に蹴られ 涙ぐむ (龍之介くんが蹴られました)

高野小3年

母

○あっちに飛びこっちにころがるバレーボール子どもたちのルールは笑うこと

○中指を立てて待てばアキアカネ青い空と白い雲の中

○次々と集いて歓談始まればコロナは遠い国の話し